



世間では感染性胃腸炎が流行していましたが、皆さん元気に過ごしていますか。例年1月末から2月にかけて気温が一段と低くなり、外にでるのも辛くなりますね。まだまだ寒い日は続きますが、規則正しい生活習慣を心がけ風邪をひかないようにしましょう。今回は乳幼児期に一度はお子さんがかかるかもしれない「クループ症候群」についてお話します。

クループ症候群??



クループ症候群ってなあに？



皆さん「クループ症候群」という病気を耳にしたことはありませんか。おいしいおやつのひとつ「クレープ」と似ているため、「クレープ症候群」と聞き間違いをしてしまった経験があるかもしれません。名前はおいしいおやつと似ていますが、かかると呼吸が苦しく辛い病気です。

原因

クループ症候群の原因は、パラインフルエンザウイルスや細菌です。原因の多くは、ウイルスによるものが多いです。

また、細菌からおこる場合は、喉頭蓋炎などになり重症になることもあります。

かかりやすい年齢は生後3ヶ月～6歳といわれています。



症状

- 発熱、せき、鼻水などの風邪症状から始まり2～3日続きます。
- せきは風邪に比べて長引きます。
- 喉頭が炎症を起こすことで、声帯（声を出す部分）付近の気道が狭くなってしまい突然の呼吸困難（息を吸うことができない）、また息を吸う時に「ゼイゼイ」「ヒューヒュー」という音がします。
- そして「ケンケン」という犬の遠吠えのようなせきをしたり、泣いてもいつものように泣き声が出ず、鋭く「ヒーヒー」という息が漏れるような音がします。
- ※ぜんそくの場合は息をはくときに「ゼイゼイ」するので、そこで見分けます。

かかったらどうすればいい？

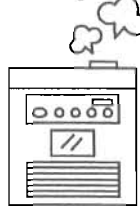
基本は風邪にかかった場合と同じケアになります。症状がひどくなる前に、医療機関への早めの受診をお勧めします。

夜間に症状がひどくなりやすい場合が多いので、受診可能な医療機関を確認したり、お子さんの様子を十分に見守ってあげてください。



〈ワンポイントアドバイス〉

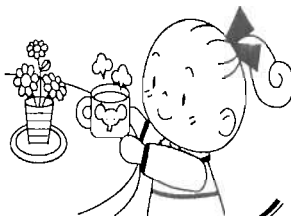
乾燥はせきを引き起こす要因になります。お部屋に加湿器や洗濯物を干して空気の乾燥を防ぎましょう。



せきなどで呼吸が苦しそうな場合は、縦抱きや座らせると呼吸が楽になります。

十分な水分補給をしましょう。

食べ物は何でも構いませんが、香辛料などの含まれる刺激の強い食べ物はせきを引き起こしてしまうので控えてください。



2月の健診日程のお知らせ

4か月児健診（受付 9:00～10:50）

5・12・19・26日

1歳6か月児健診（受付 12:50～14:00）

6・13・20・27日

3歳児健診（受付 12:50～14:00）

7・14・21・28日

場所 母子保健センター

対象者には、ご自宅へ健診日の約1か月前に健診票が郵送されますので、この案内の日時に健診を受けてください。



豊橋市役所 保育課 保育グループ
保健だより

2008年2月1日